

カーブミラーが寄贈されました

中村地区安全運転管理者協議会よりカーブミラーが寄贈され、黒潮町役場にて2月6日(火)、寄贈式が行われました。

同協議会では、黒潮町および四万十市の自動車事故軽減に向けて、様々な活動を実施。交通安全対策としてカーブミラーの寄付なども行っています。

今回、その一環として黒潮町にカーブミラー4基が寄贈されました。寄贈された4基は、左記のとおり町内に設置される予定です。

町内設置予定箇所

- ・ 大方橋川地区・入野 錦野地区
- ・ 入野芝地区・加持本村

(関連記事 P.17)



寄贈式の様子。田辺佳雄会長(右)

前トンガ王国大使来町講演

2月9日(金)、前トンガ王国大使・沼田行雄さんの講演会が、大方あかつき館・佐賀中学校の両会場で開催され、大方中学校、佐賀中学校の生徒や関係者ら約300人が参加しました。

沼田さんは2015年5月から2年半の間、トンガ王国の大使



講演会の様子

を務め、その間に実施された「ランドセルプロジェクト」が縁で、今回の講演会が開催されました。

同プロジェクトは、一昨年11月に開催された「世界津波の日高校生サミットin黒潮」に同国の高校生が参加したことで、黒潮町とトンガ王国の繋がりが生まれ、婦人連合会とPTA連合会の主導のもと小学校で使用したランドセルを集め、トンガに寄贈するというもので、昨年より行われています。

講演では、日本と同国の繋がりと両国の交流・活動、トンガの文化などがスライドを交えて紹介さ

れ、沼田さんは「広い世界に飛び出し、世界で活躍する人となってほしい。これからも黒潮町とトンガの末永い交流が繋がってほしい」と話しました。

ゴルフ合宿誘致で地域振興を

黒潮町では平成23年度より、町内で合宿を行うアマチュアスポーツ団体への支援を行うなど、スポーツツーリズムの推進をしてきました。

同事業の一環としてこの程、黒潮町スポーツツーリズム(ゴルフ)実行委員会を立ち上げ、今後のゴルフ合宿受け入れを増加させるための本格的な誘致活動を開始しました。

活動では、ゴルフ部のある四国内の高校に呼びかけを行い、意見交換を行う目的で1月27日(土)、土佐ユートピアカントリークラブで「四国高等学校ゴルフサミットin黒潮」が開催されました。同サミットでは、合宿地を選ぶ際のポイントや補助金制度の改善点など、活発な話し合いが行われ、今後のより効果的な誘致活動への一歩となりました。



初開催となった同ゴルフサミット

また、誘致活動の推進は四国のみならず関西圏にも渡り、2月18日(23日には同志社大学・体育会ゴルフ部が黒潮町を訪れ、合宿を行いました。同ゴルフ部の長田敬市監督は「気候も温暖で、誘致活動には熱気を感じた。今後は関西圏にある他の大学にも声掛けをするなど協力していきたい」と話し、今後の当町での合宿に前向きな姿勢が見られました。

黒潮町スポーツツーリズム(ゴルフ)実行委員会の植田雄二事務局長は今後の合宿誘致について、「来年度は10団体の受け入れを目標に励みたい」と話し、さらなる黒潮町の活性化に意気込みを表明しました。